

【習得している知識・技能等】

- ・選挙によって代表が選ばれること
- ・民主政治における政党の役割
- ・複数の資料を関連付けて読み取ること

本時の学習を通して育てたい力

- 日本の選挙制度の特徴について、選挙結果の資料をもとに考察し説明することができる。

- ◇ 学年 第3学年
- ◇ 単元名 国の政治のしくみ 選挙のしくみ
- ◇ 本時の目標 日本の選挙制度の特徴について、選挙結果の資料をもとに考察し説明することができる。
- ◇ 学習の流れ(4時間目/全6時間)

【本時での活用とは】

対立と合意、効率と公正の見方や考え方をもとに日本の選挙制度の特徴を説明することができる。

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)																														
1 課題意識をもたせる。 ・選挙結果から、なぜ、復活当選できたのか疑問をもつ。	◇小選挙区制では落選したが、比例代表制で復活当選した衆議院議員選挙の新聞記事を提示する。 ◇「なぜ、一旦落選したのに復活して当選することができたのか」と投げかけ、課題につなげる。																															
2 本時のめあてを確認する。	日本の選挙制度は、どのような特徴があるのかを考え説明しよう。																															
3 衆議院議員選挙の資料(仮想)をもとに二つの制度の違いを考える。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="3">小選挙区制</th> <th colspan="3">比例代表制(6人当選の場合)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>Aさん</th> <th>Bさん</th> <th>Cさん</th> <th></th> <th>みかん党</th> <th>りんご党</th> <th>いちご党</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>得票数</td> <td>1000票</td> <td>800票</td> <td>600票</td> <td>得票数</td> <td>1000票</td> <td>600票</td> <td>450票</td> </tr> <tr> <td>結果</td> <td>当選</td> <td>落選</td> <td>落選</td> <td>結果</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇投票対象、当選者の決め方の違いを明確にさせる。 ◇自分たちの代表を決めるのに、「なぜ、一つの選挙制度ではなく、二つあるのか。」と投げかける。</p>	小選挙区制			比例代表制(6人当選の場合)				Aさん	Bさん	Cさん		みかん党	りんご党	いちご党	得票数	1000票	800票	600票	得票数	1000票	600票	450票	結果	当選	落選	落選	結果	3人	2人	1人	<p>二つの資料を比較して読み取らせ、制度の違いを明確にさせましょう。</p> <p>★比較することにより違いを明確にでき、後の考察の視点とすることができます。</p>
小選挙区制			比例代表制(6人当選の場合)																													
	Aさん	Bさん	Cさん		みかん党	りんご党	いちご党																									
得票数	1000票	800票	600票	得票数	1000票	600票	450票																									
結果	当選	落選	落選	結果	3人	2人	1人																									
4 なぜ、小選挙区比例代表並立制となっているのかを考える。	◇「どちらの制度がよいか」と問い、その理由とともに発表させる。 ◇友だちの考えと自分の考えを比べ、同じところや違うところを踏まえて全体で発表させる。 ◆先ほど学習した二つの制度の違いに再度着目させる。	<p>効率や公正の視点でどちらかを選択させ、その理由や根拠を問いましょう。</p> <p>★判断の理由・根拠を効率や公正といった視点に置くことで、これまでの学習とのつながりが見え、考えを深めることができます。</p>																														
期待したい生徒の反応	◆先ほど学習した二つの制度の違いに再度着目させる。																															
・小選挙区制は少数派の意見が反映されない。全ての議員を比例代表選挙で決定した方がよいと思う。 ・比例代表制は人物に投票できないから、政党に属していない人は議員になれない。 ・比例代表選挙だけでは、いろいろな立場の人が当選して意見がまとまらなくなるのではないか。 ・得票が多いということはその人物が一番信頼されているということだから小選挙区がいい。	◇出た意見をもとに二つの選挙制度のメリット・デメリットを整理する。 ◇メリット・デメリット、話し合ったことをもとに小選挙区比例代表並立制になっている意味を考える。 ◇広島県の開票結果を提示し、具体的に理解させる。																															
5 本時のまとめをする。		・現在の選挙制度の特徴を民意を、二つの選挙制度のメリットやデメリットを踏まえて考え説明している。 〔思考、判断、表現〕(ノート)																														
生徒のまとめ例 ・小選挙区制は、大政党の候補者が当選することが多く、議会で多数派が形成されること、比例代表制では、少数意見も代表されやすいが、議会在小党ばかりになることが分かった。衆議院議員を決める選挙は、多くの人々の意見を反映させるために、二つの選挙制度を組み合わせるといふ特徴があることが分かった。メリットやデメリットを考えながら、常によりよい選挙制度を考えていくことが大切だと思った。																																
6 本時を振り返り、次時につなげる。	◇選挙の課題を考えてくるように指示する。																															